

1 基本情報

事業名称	SHSなか学コミュニティ事業				
事業目的	中区政について、若い世代の視点で効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が住みよい地域社会の実現をめざすことを目的とする。				
事業概要	中区内の高等学校（精華高等学校、大阪府立東百舌鳥高等学校、大阪商業大学堺高等学校）の協力を得て、3校の生徒が一同に集まるミーティングを開催し、若者の視点を活かしながら中区の事業等の内容や課題について意見の抽出等を行う。				
実施主体	中区役所 自治推進課	実施場所	中区役所 ほか	実施時期	令和7年5月～令和8年3月

2 設定指標

活動指標	ミーティング回数		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	2回	2回
		実績	未実施	1回	5回	5回
成果指標	堺市は地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域での様々な活動が活発な都市だと思いますか。 （市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合）		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	67.1%
		実績	52.9%	62.7%	57.5%	63.0%

3 事業評価

決算額 51,789 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
本事業は、区政について、若い世代の視点で効果的な啓発方法や事業の検討を行い、区民が住みよい地域社会の実現を図るものである。 若い世代の意見を区政に取り入れることにより、中区が抱える諸課題に対して新たなアプローチを促す効果や区政に対する若者の意識・関心を高めるうえで重要な役割を果たす取組である。 以上のことから、本事業は事業を実施する妥当性が高い。		本事業は区政に対し、若い世代の視点を取り入れる事業である。若い世代の意見を聴取するための対面ミーティングは区役所の会議室で実施することにより、費用を抑えた事業運営を行っている。また、学生による啓発物の作成や街頭啓発への参加など、追加的な予算をかけずに効率的に事業を実施している。 以上のことから、本事業は費用対効果が高い。		本事業は、区民が住みよい地域社会の実現を目的として、若者世代の視点を取り入れた効果的な啓発手法及び事業の検討に取り組むものである。若者の視点を区政に活かすことは、中区が抱える諸課題に対して新たなアプローチを促す効果に加え、若い世代の地域への関心と参画を促進し、地域の魅力などの情報発信によるPR効果にもつながる。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
本事業は、区政に若い世代の意見を取り入れるために区内の高等学校に協力を求めており、行政と学校による連携が図られている。行政と高校生による対面ミーティングに限らず、警察とも連携し街頭啓発も行っている点から庁外との連携の度合いが高い。		本事業において取り組んだ「SHS中区グルメマップ」の作成や「特殊詐欺被害防止の啓発活動」は、計画における「区民間交流の推進」及び「犯罪や事故のない暮らしの実現」の取組に寄与している。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	通常授業や学校行事で多忙な中、3校間での日程調整が難しく、活動時間の確保が困難。	今後の方向性	継続
対応方針	各校の多忙な教育活動に配慮しつつ、オンラインの活用や実施方法の工夫、計画的な日程調整を行うことで、活動時間の確保と事業の継続的な実施を図る。		